

発行人 → 医療法人社団
すんとおる

沼津市高沢町6-1
TEL → 055-922-8855
URL → <http://www.sunto-seikei.jp>

すっかり春になりましたね。昼間は暑いと感じる日も増えてきました。☀️ 出かける際は、紫外線対策や水分補給を忘れずに!!
さて今日は、看護師の古田さんからリウマチについてのお話です。そそではお願いします☆

リウマチ生物製剤治療



★ 駿東新聞を御覧の皆様こんにちは。看護師の古田です。
今回は関節リウマチ治療に使われている「生物学的製剤」についてお話ししたいと思います。

★ まず皆さんは、関節リウマチがどんな病気か御存知ですか？
関節リウマチは関節が炎症を起こし、軟骨や骨が変形してしまい、関節の機能が損われ、放っておくと関節が変形してしまう病気です。男性より女性の方が4倍多く発症するとおわれています。
★ 皆さんのイメージでは関節リウマチは治らない病気だと思っている方が多いと思いますが、今は早期発見・早期治療により寛解が

★ (リウマチの症状・兆候が消失した状態)を目指すことが出来るようになりました。その治療の一つとして生物学的製剤による治療があります。生物学的製剤は大別すると炎症を悪化させるサイトカイン(TNFα・IL-6・トリンパロ球)の



3種類があります。この3種類(TNFα・IL-6・トリンパロ球)の働きを抑える製剤が今までの飲み薬に比べて



IL-6
★ 高い抗炎症作用があり、関節破壊を抑制します。

★ 現在は7種類すべて点滴か皮下注射の2種類に分類され



★ ます。投与間隔は薬の種類によって異なりますが、患者さんのライフスタイルに合わせて薬剤選択を行う事が

★ 可能です。しかし誰にでも投与できる訳ではありません。その理由としては、抗リウマチ薬を投与して効果が不十分だと患者さんが対象となること、又、重い感染症にかかっている方などには投与することが

★ 出来ない事、薬剤費が高額な為、治療を躊躇されてしまう方が多い事があげられます。か、関節・腫れ・痛みに対しては効果があり、症状の改善が期待できる治療です。高額な薬剤を用いた治療には、いろいろの制度によって医療費の負担が軽くなる場合もありますので、治療について詳しく知りたい方



★ 手関節の変形

★ 手指・足などに痛みのある方は、医師・看護師に御相談下さい。